

## 競争的研究資金獲得力向上経費・新テーマ育成資金

研 究 者	所属・職名 経済経営学類 准教授 氏 名 巖 成 男
研 究 課 題	大震災からの復興における社会的調整に関する日中比較研究
成 果 の 概 要	<p>本研究の目的は、2008年5月に中国四川省で起きた「四川大震災」からの復興における国家的調整と東日本大震災からの復興における民間主導の復興の国際比較分析である。特に、異なる制度的調整に基づく復興メカニズムの内容と効果を明らかにすることを目標としている。</p> <p>上記の研究目標の達成に向けて、現地調査と第一次資料の収集、論文執筆、研究会での報告、および国際シンポジウムの主催を行った。</p> <p>1. 現地調査と第一次資料の収集</p> <p>2011年8月30日から9月8日までの10日間、中国四川省の被災地へ赴き、震災からの復興実態に関する調査を行った。滞在期間中、震源地の汶川県をはじめ、成都市、都江堰市、綿陽市、安県、北川県を見て回り、国家主導によって3年間で驚異的な復興を成し遂げた実態を見た。その過程で、このような復興を可能にした復興メカニズムの内容、成果、問題点、残された課題などについて、現地の住民や研究者との交流を通じて把握し、資料を収集した。特に、四川大震災からの復興に企画段階から直接参加し、実態を熟知する西南交通大学（成都市）の先生方と一緒に現地を見て回り、説明や残された課題などを伺えたことで、大変収穫の多い現地調査となった。</p> <p>添付している写真(1)が示しているとおり、復興によって被災地の社会経済基盤（ハード面）の整備はかなり進んだ。しかし、片方二車線の新しい道路を通る車両は非常に少ない。国家主導の「対口支援」の下、東南沿海部の経済が発展した省・市は新しい道路や住宅は建ててくれたが、新しい産業や雇用を創出することには成果が乏しかったことがわかる。</p> <p>そして、添付している写真(2)は、都江堰市翠月湖鎮における新しい復興モデル住宅である。中国全土にその復興メカニズムが宣伝され、多くの地方幹部が訪れ、有名になった「復興モデル地区」である。そのモデルの特徴に関する詳しい説明は、研究会報告資料で行っているが、国家主導のもと、「国家的調整」、「制度的調整」、「市場的調整」パターンの有機的な結合による成功モデルであることから中国国内各地域の注目を浴びていると思われる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>(1)遼寧省が建設した安県の「遼安大路」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(2)都江堰市翠月湖鎮の新築された村落</p> </div> </div>

## 2. 論文執筆と研究会での報告

今回の研究資金助成に基づく研究は、現在のところ研究会報告の形で計2回報告した。2011年12月17日のポスト冷戦研究会（専修大学）においては、「社会主義市場経済システムの理解に関する試論的研究」という報告で、そして2012年3月26日の進化経済学会：現代日本の経済制度部会（福島大学）においては、「日本における民間主導型復興と中国における国家主導型復興—ペアリング支援を中心に—」という題名で報告している。

2回の報告資料に基づく論文、「復興メカニズムの日中比較分析」は現在最終まとめの段階にあり、近日中に学術雑誌への投稿を計画している。

そして、今回の資金助成に基づく現地調査の資料と成果は、現在進行中の他の研究でも活用されており、2011年度に公表された論文2篇（福島大学個人業績データベース参照）の中でも一定程度活用されている。

## 3. 国際シンポジウムの主催

今回の研究資金助成に基づく現地調査の中で構築した国際共同研究のネットワークを活用して、2012年3月31日に日中の震災復興メカニズムの国際比較を目的とする国際シンポジウムを主催した。東日本大震災一周年記念・国際シンポジウム『震災復興メカニズムの多様性：日本における民間主導の復興と中国における国家主導の復興』では、中国の西南交通大学（四川省成都市）の研究者6名と福島大学の研究者5名の報告が行われ、同日は研究者や学生、および社会人の約50名の聴衆が会場に集まり、熱い議論が展開された。さらに福島の地元紙二社から、福島大学の震災復興研究の国際的、国内的発信に関する取材があり、国際シンポジウムは成功裏に開催された。

また、今回の国際シンポジウムを通じてさらに強固になった震災復興に関する日中国際共同研究体制は、今年の10月に中国四川省で、第二回目の国際会議を検討しているところである。